事務事業調書	No	623	課 名	浄水管理事務所	起 案 者	杉浦良二
平成23年度			係 名	管理係	決 裁 者	石原隆義
事 業 種 別	施設管理		区 分	新規	業務一覧No	11,12,13,14
事務事業名	浄水及び配水事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 3 計画的な施設の整備・更新	予算科目(会計)	
		予算科目(款・項・目)	
		総合計画以外の計画	第５次拡張事業
		関連する総合計画の施策	
性質区分	市の内部事務事業	法定受託事務	無
根拠法令	有	水道法	
実施方法	直営	委託先	
実施期間	開 始	昭和34年度	経 過 52年目 / 終 了 / 期 間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	市民（給水対象者）が	～になる	いつでも水を利用できる
事務事業の内容	・受水した県水（浄水）と、浄水処理（水をきれいにする）を実施した自己水源を合わせて一旦、配水池に貯留した後、配水ポンプにて市内へ給水する事業で、計画的な設備更新や故障等の迅速な修繕、整備を行い、需要に応じた水道水を安定供給します。			
事務事業進捗状況	・Ｈ１８　５件の工事と１８件の修繕を実施 ・Ｈ１９　７件の工事と１４件の修繕を実施 ・Ｈ２０　９件の工事と２０件の修繕を実施 ・Ｈ２１　７件の工事と２４件の修繕を実施 ・Ｈ２２　８件の工事と２３件の修繕を実施			
改善・対策の履歴	・Ｓ３４中部浄水場給水開始 ・Ｓ４３北部浄水場給水開始 ・Ｓ４４南部浄水場給水開始 ・Ｓ６３中部浄水場を中部配水場に名称変更			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		206,010	183,362	254,906	211,224	275,591	205,566	225,924
	財 源 計 a		190,649	168,227	239,620	195,712	259,853	189,828	209,358
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	190,649	168,227	239,620	195,712	259,853	189,828	209,358
		一 般 財 源	0	0	0	0	0	0	0
	受 益 者 負 担 金		0	0	0	0	0	0	0
	職 員 人 件 費 d		15,361	15,135	15,286	15,512	15,738	15,738	16,566
	内 訳	従 事 職 員 数	2.04	2.01	2.03	2.06	2.09	2.09	2.20
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	浄水及び配水施設工事	見込(単位)	8.00	7.00	8.00	6.00
				実績b(単位)	9.00	7.00	8.00	
		指標名(単位)	工事件数(件)	活動の総事業費f 実績	87,871	131,344	125,800	
				単位コストg=f÷b 実績	9,763.42	18,763.41	15,725.03	
	活動②	活動名（活動内容）	浄水及び配水施設修繕	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	1.00
				実績b(単位)	20.00	24.00	23.00	
		指標名(単位)	修繕件数(件)	活動の総事業費f 実績	11,684	10,255	12,837	
				単位コストg=f÷b 実績	584.20	427.31	558.13	
	活動③	活動名（活動内容）	浄水及び配水管理	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績b(単位)	20,562.00	20,336.00	20,715.00	
		指標名(単位)	年間配水量(千m3)	活動の総事業費f 実績	72,541	66,137	64,052	
				単位コストg=f÷b 実績	3.53	3.25	3.09	

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	水の供給支障発生件数(件)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	0.00	0.00	0.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		工事進捗率(%)	見込(単位)	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績(単位)	100.00	100.00	100.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	・計画的な工事と適切な修繕の実施により、浄・配水場設備の健全性は十分保たれています。 ・需要量の増加に伴い、年間総配水量が、平成２１年度に比べて約１．９％増加しました。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	・工事は、１件あたりの施工金額が小額であったため単位コストが減少しました。 ・修繕は、１件あたりの施工金額が高額であったため単位コストが増加しました。 ・浄・配水管理は、水需要量の増加に伴い単位コストが減少しました。
	成果1，2	・工事は予定どおり実施できました。 ・修繕は、２３件実施しましたが、何れも市内給水に直接影響するような重大な故障ではありませんでした。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	・浄・配水場施設の安全性をよりいっそう向上させるため、地震防災施設整備事業の施設更新と合せて、計画的に設備更新や適切な修繕を実施していきます。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	・計画的な施設整備を実施することで、給水能力を確保し水道水の安定供給を図ります。